

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(小学校用)

都道府県名

長崎

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	大村市立 竹松小学校								教員数
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	30
学級数	3	3	3	3	4	3	2	21	
児童数	113	104	108	107	133	120	7	692	

研究の概要

1. 研究主題

「学びの自立を支える基礎学力の定着を目指して」

～算数科の授業を通して～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

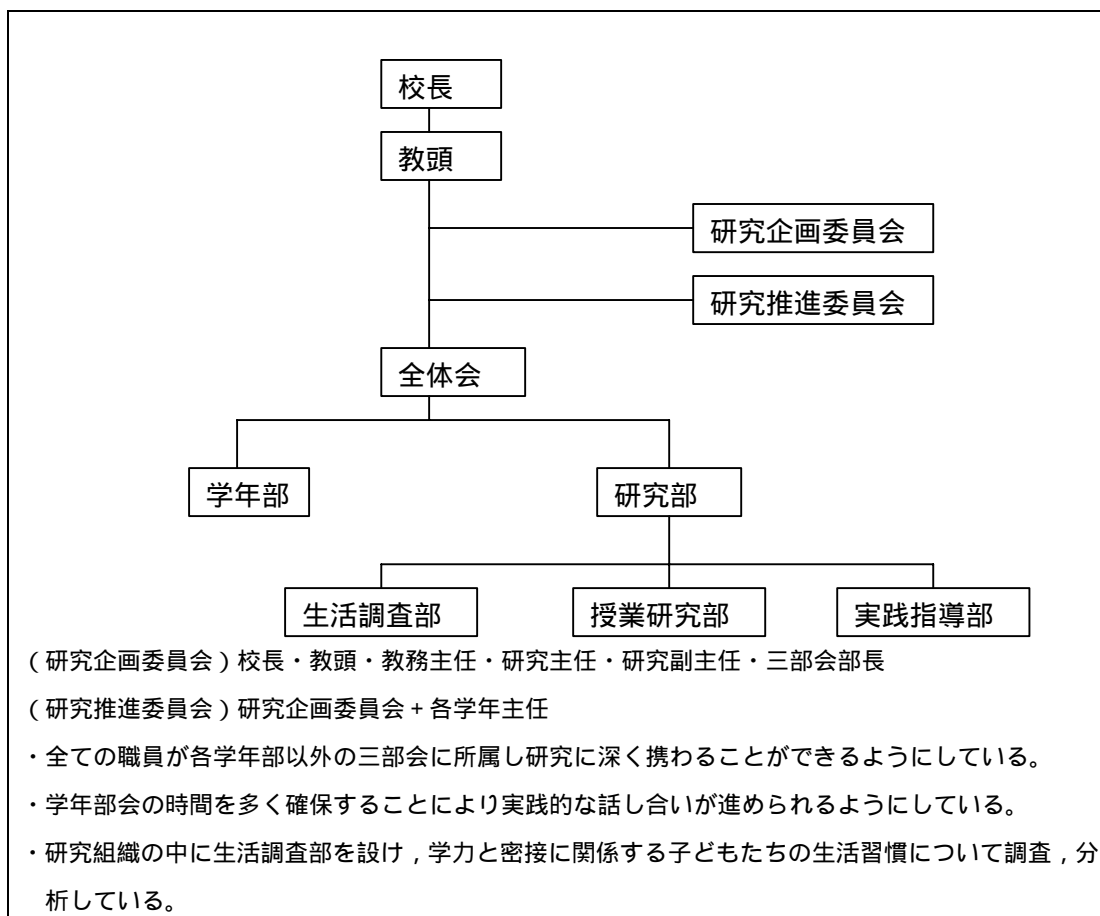
- ・1～6年までの全学年の算数科
- ・児童の理解に差がでやすく、またその反面結果としてわかりやすい。
- ・基礎学力の定着が児童の学習意欲へつながりやすい教科である
- ・全学年の系統性があり、全ての教員が関わって研究できる

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>「学びの自立を支える基礎学力の定着を目指して」</p> <p>子どもの興味・関心・意欲を大切に視点から工夫した学習を行い、すべての学習活動の基盤となる基礎学力を向上させる学習を行っていけば、子どもたちは学習・生活の様々な場面で自信をもち、さらにそこから個性や想像力を十分に発揮し、目を輝かせて生き生きと活動することができるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主題、研究方法、研究組織作り ・基礎学力の定義 ・様々な少人数指導の授業形態での実践 ・多様な少人数指導の効果的な面と問題点のまとめ ・児童の実態(学習面・生活面)の把握 ・各部(生活調査部・授業研究部・実践指導部)での活動 ・学力テストを使った児童の学力調査 ・各家庭への生活アンケートの実施 ・「竹の子タイム」の新設と効果的な活用
--------	---

平成16年度	<p>「学びの自立を支える基礎学力の定着を目指して」</p> <p>子どもの興味・関心・意欲を大切に視点から工夫した学習を行い、すべての学習活動の基盤となる基礎学力を向上させることができる学習を行っていけば、子どもたちは学習・生活の様々な場面で自信をもち、さらにそこから個性や想像力を十分に発揮し、目を輝かせて生き生きと活動することができるだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級内の少人数指導を中心とした授業実践 ・より個に応じた指導方法の研究 ・児童の事態把握（平成15年度との比較を通して） ・加配教員の効果的な活用 ・各部の研究を深める ・家庭との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善 ・研究についての広報及び協力 ・通信等を使った定期的な家庭への本校の取り組みの紹介 ・朝自習「竹の子タイム」のより計画的な実践
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- ・多様な少人数指導の授業実践により、効果的な面と問題点が明らかになった
- ・職員の少人数指導に対する意識が高まった（加配教員だけでなく専科等の教員が少人数指導に積極的に関わった）
- ・少人数指導により児童の理解が深まってきている。
- ・少人数指導により、子どもたちが自ら課題に取り組み、意欲的に学習する姿が見られるようになってきている。
- ・学習に対する構えができ、意欲が高まってきた
- ・朝自習「竹の子タイム」の実践により、スキル学習などの時間が多く確保できるようになった。
- ・朝自習「竹の子タイム」に対する児童の取り組む姿勢が意欲的になってきている。

2. 今後の課題

- ・少人数指導の効果的な授業形態、指導のあり方
- ・今年度実践してみてわかった少人数指導の問題点や課題についての研究
 - ・クラス内での児童間の序列化の危惧
 - ・進度のばらつき
 - ・低学年の少人数指導
 - ・習熟が進んでいない児童へのよりわかりやすい指導 ...等
- ・各学年の発達段階、指導内容に応じた効果的な指導形態
- ・家庭や地域へ向けてのより一層の広報と連携の強化
- ・外部指導者の活用
- ・各フロンティア校との連携

学力把握のための学校としての取り組み

6月

- ・学力テスト（国語・算数）
各学年の実態把握と今後の指導に生かす資料にする

9月

- ・生活調査アンケート
学力と密接な関係にあるものと思われる家庭での生活習慣についてアンケート
結果を分析し、生活習慣の改善に生かす。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・PTA 総会における本校の研究の取り組みについての説明
- ・地区懇談会において各地域で本校の取組状況及び成果の説明
- ・各家庭へ通信等を使った紹介
- ・要請訪問時（11月・12月）の授業参加へ市内各校への呼びかけ・授業公開
- ・1月の学校公開日に保護者・地域の方への授業公開

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	6学級以下	7～12学級		
	13～18学級	19～24学級		
	25学級以上			
【指導体制】	少人数指導	T・Tによる指導		
	一部教科担任制	その他		
【研究教科】	国語	社会	算数	理科
	生活	音楽	図画工作	家庭
	体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有り	無	